



平成22年12月期 第1四半期決算短信

平成22年5月10日

上場会社名 株式会社東計電算

上場取引所 東

コード番号 4746 URL <http://www.toukei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 甲田 博康

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員

(氏名) 甲田 英毅

TEL 044-430-1311

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第1四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第1四半期	3,043	0.7	562	△2.8	581	△4.3	345	△0.9
21年12月期第1四半期	3,023	—	578	—	607	—	348	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第1四半期	37.64	—
21年12月期第1四半期	37.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第1四半期	13,663	11,306	82.5	1,227.43
21年12月期	13,542	11,174	82.3	1,213.42

(参考) 自己資本 22年12月期第1四半期 11,271百万円 21年12月期 11,142百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	—	—	38.00	38.00
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	5,422	4.3	634	0.6	703	3.7	408	0.4	44.50
通期	10,995	2.6	1,726	14.4	1,844	14.5	1,076	19.1	117.21

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 - ② ①以外の変更 無
- 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|--------------|------------|--------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年12月期第1四半期 | 9,350,000株 | 21年12月期 | 9,350,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年12月期第1四半期 | 167,287株 | 21年12月期 | 167,245株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年12月期第1四半期 | 9,182,741株 | 21年12月期第1四半期 | 9,182,843株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成22年2月10日に発表いたしました業績予想は、本資料において修正しております。
2. 前連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。
3. 上記に記載した予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、昨年の金融危機以降落ち込んだ企業マインドが順調に回復を見せており、大企業製造業を中心に新興国の経済発展や景気対策の恩恵を受け、企業収益の回復により設備投資が下げ止まりつつあります。

当業界におきましても、ユーザー企業において企業収益の回復に伴い景気後退の影響により凍結していたIT投資を再開する状況になっており、設備投資計画の改善が見込まれます。

このような環境のなかで、当社グループは、システムインテグレータとして、多様化するお客様のニーズにフレキシブルに対応するため、業種別ソリューション、アウトソーシング、ネットワークの3つの重点戦略を掲げ、積極的に営業展開を進めてまいりました。

具体的には、前期に減収となった反省を踏まえ、①プロジェクト管理を成功させるための教育・研修の充実化、②業種別ソリューションの開発標準化の促進とASP受託売上の拡大、③業種別ソリューションと会計・人事業務システムの統合による業種別ERPの確立、④IT技術の活用による営業力強化に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高30億43百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益5億62百万円（同2.8%減）、経常利益5億81百万円（同4.3%減）、四半期純利益3億45百万円（同0.9%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状況の変動状況

当第1四半期連結会計期間における総資産は136億63百万円となり、主として売掛金及び投資有価証券の増加により前連結会計年度末に比べて1億21百万円増加しました。総負債は23億57百万円となり、主として未払法人税等の減少により前連結会計年度末に比べて10百万円減少しました。純資産は113億6百万円となり、主としてその他有価証券評価差額金の増加により前連結会計年度末に比べて1億31百万円増加しました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローが24百万円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローが2億60百万円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローが3億39百万円の減少となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して5億74百万円減少し、3億75百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローの増加は、主として税金等調整前四半期純利益5億79百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローの減少は、主として有形固定資産の取得による支出2億60百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローの減少は、主として、配当金の支払3億48百万円等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想につきまして、売上面につきましては、上半期に予定しておりました検収が下半期に遅延する見込みとなったため売上高の予想を1億4百万円下方修正いたしました。利益面につきましては、前記検収の遅延及び一部案件における採算性の悪化が解消しないことから、営業利益を1億76百万円、経常利益を1億89百万円、四半期純利益を90百万円それぞれ下方修正いたしました。

平成22年12月期通期の業績予想につきましては、売上面につきましては、前記検収遅延の影響を受け、前回発表数値を下回る見込みとなったため、売上高の予想を3億60百万円下方修正いたしました。利益面につきましては、採算性の悪化は解消するものの、前回発表数値を若干下回る見込みとなったため、営業利益を37百万円、経常利益を57百万円、当期純利益を34百万円それぞれ下方修正いたしました。

詳細につきましては、本日平成22年5月10日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想の数値には、当社グループが発表日現在において入手可能な情報による判断及び仮定により算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要素や今後の経済状況、環境の変化等により、実際の業績は当該予想数値と異なる場合がありますのでご承知おきください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度中の取得、売却又は除却等の見積を考慮した当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法により算定しております。

② 法人税等及び繰延税金資産の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しましては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境等、且つ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

第1四半期連結会計期間より、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を当第1四半期連結会計期間に着手した契約から、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる契約については、工事進行基準（進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の契約については工事完成基準を適用しております。なお、この変更による損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	375,133	949,623
受取手形及び売掛金	2,064,107	1,791,097
有価証券	44,260	76,384
商品	8,151	6,917
仕掛品	484,174	593,270
繰延税金資産	193,002	132,260
その他	95,445	46,428
貸倒引当金	△9,657	△8,955
流動資産合計	3,254,617	3,587,027
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,869,678	1,901,233
機械装置及び運搬具(純額)	120,838	119,739
土地	4,339,458	4,108,458
その他(純額)	528,113	441,249
有形固定資産合計	6,858,088	6,570,681
無形固定資産		
のれん	13,033	13,883
その他	11,580	12,113
無形固定資産合計	24,614	25,996
投資その他の資産		
投資有価証券	3,274,055	3,021,071
前払年金費用	34,783	36,796
繰延税金資産	152,162	235,278
その他	85,588	85,714
貸倒引当金	△20,464	△20,464
投資その他の資産合計	3,526,124	3,358,396
固定資産合計	10,408,827	9,955,074
資産合計	13,663,444	13,542,101

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	409,104	407,230
短期借入金	10,000	—
関係会社短期借入金	2,079	2,079
未払法人税等	318,772	414,630
賞与引当金	407,545	216,382
その他	1,168,618	1,286,383
流動負債合計	2,316,120	2,326,706
固定負債		
役員退職慰労引当金	31,292	30,895
その他	9,616	9,616
固定負債合計	40,909	40,512
負債合計	2,357,029	2,367,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,370,150	1,370,150
資本剰余金	1,302,350	1,302,350
利益剰余金	8,968,504	8,971,806
自己株式	△243,377	△243,330
株主資本合計	11,397,627	11,400,976
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△126,473	△258,425
評価・換算差額等合計	△126,473	△258,425
新株予約権	34,720	31,689
少数株主持分	541	643
純資産合計	11,306,414	11,174,883
負債純資産合計	13,663,444	13,542,101

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	3,023,746	3,043,496
売上原価	1,983,800	2,060,293
売上総利益	1,039,946	983,203
販売費及び一般管理費	461,325	420,696
営業利益	578,621	562,506
営業外収益		
受取利息	8,598	12,556
受取配当金	17,625	11,042
デリバティブ評価益	—	5,186
雑収入	3,648	4,197
営業外収益合計	29,872	32,982
営業外費用		
支払利息	88	46
有価証券売却損	596	843
有価証券償還損	—	13,310
雑損失	206	28
営業外費用合計	891	14,228
経常利益	607,601	581,260
特別損失		
固定資産除却損	12,970	1,408
投資有価証券評価損	42,429	—
特別損失合計	55,400	1,408
税金等調整前四半期純利益	552,201	579,852
法人税、住民税及び事業税	287,233	302,135
法人税等調整額	△83,713	△67,926
法人税等合計	203,520	234,208
少数株主利益	5	0
四半期純利益	348,675	345,643

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	552,201	579,852
減価償却費	116,113	114,006
のれん償却額	566	849
受取利息及び受取配当金	△26,223	△23,598
支払利息	88	46
固定資産除却損	12,970	1,408
投資有価証券評価損益(△は益)	42,429	—
デリバティブ評価損益(△は益)	—	△5,186
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,452	701
売上債権の増減額(△は増加)	△608,926	△273,010
たな卸資産の増減額(△は増加)	81,340	107,863
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△57,440	△49,817
仕入債務の増減額(△は減少)	△16,134	1,873
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△59,605	△75,108
その他	1,649	20,162
小計	43,482	400,044
利息及び配当金の受取額	20,942	16,650
利息の支払額	△228	△52
法人税等の支払額	△98,564	△391,751
営業活動によるキャッシュ・フロー	△34,367	24,890
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△122,125	△260,662
投資有価証券の取得による支出	△390	△63,168
投資有価証券の売却による収入	1,723	32,188
有価証券の償還による収入	—	31,160
子会社株式の取得による支出	—	△73
のれんの取得による支出	△17,000	—
貸付けによる支出	△2,800	—
貸付金の回収による収入	—	180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140,592	△260,375
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	10,000
配当金の支払額	△367,313	△348,944
その他	△14	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	△167,327	△339,004
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△342,287	△574,489
現金及び現金同等物の期首残高	776,889	949,623
現金及び現金同等物の四半期末残高	434,601	375,133

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)

	情報処理・ ソフトウェア開発業務 (千円)	機器販売業 務 (千円)	リース等そ の他の業務 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売 上高	2,576,781	349,492	97,473	3,023,746	—	3,023,746
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	878	—	303	1,181	(1,181)	—
計	2,577,659	349,492	97,776	3,024,928	(1,181)	3,023,746
営業利益	491,461	57,190	29,969	578,621	—	578,621

当第1四半期連結累計期間(自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)

	情報処理・ ソフトウェア開発業務 (千円)	機器販売業 務 (千円)	リース等そ の他の業務 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売 上高	2,612,047	352,065	79,382	3,043,496	—	3,043,496
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	12	494	506	(506)	—
計	2,612,047	352,078	79,877	3,044,003	(506)	3,043,496
営業利益	483,844	55,397	23,265	562,506	—	562,506

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、事業内容の実態を勘案して区分しております。

2. 各区分に属する主要な内容

イ. 情報処理・ソフトウェア開発業務

- ① ソフトウェア開発業務 [OA (オフィスオートメーション) 系管理業務を中心としたアプリケーション開発、通信制御系等のソフトウェア開発等]
- ② システム運用業務 (システム開発後のシステム運用に係わる業務)
- ③ ファシリティサービス業務 (エントリー業務の受託・運営管理、キーパンチャー派遣等)

ロ. 機器販売業務

各種PC (パーソナルコンピュータ) 及び周辺機器の販売

ハ. リース等その他の業務

コンピュータ関連、各種事務機器及び不動産の賃貸

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年3月31日)
海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年3月31日)
海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。